

# 孤独な英雄 義経に心寄せる



## 「義経わーるど」展

文化祭展示 8/27・28

○今年も沢山の先輩と一緒に悲しみの英雄義経をいろんな角度からせまつてみました。そして、日本人が大好きな理由が少しわかりました。

今年の九里祭は、大河ドラマにもなった源義経の魅力に迫つてみようということになりました。

係は五つに分かれました。

苦戦したのは衣装づくりで、静御前の白拍子のコスチュームは、以前の九里祭で作

つて下さった先輩のを借りりして、型紙の製

図と裁断まで先輩にしてもらつて、私達は縫い方だけでしたがやつと出来ました。また、兜と鎧は宮坂考古館からお借りしたのをもとに、兜の前立てだけをつくり、義経風にアレンジしました。

立体展示は、ゲート

の義経の兜や鎧が複雑で描くのが大変でした。こうして出来上がった会場で、義経、静、弁慶の衣装を着た人達はみんなそれらしく見え、見事に義経の世界に溶け込んでいました。

さて、今回も卒業した先輩方には夏休みを返上して全般にわたり手伝つてもらいました。先輩は経験を積んでいるので、実に手際がよく圧倒されました。お陰で、毎日汗をふきながらも充実した日々でした。

今回の展示で、義経がチンギス・ハンになつて生きていたたという伝説があることを知りました。義経がモンゴル入りしたであろうと推測される時期とチンギス・ハンが現れる時期が一致している所などから、江戸時代から

# 図書館だより

九里学園高等学校員会 印刷  
TEL 21-5511(代)



## 伝説は温かい

(三年

椎野 友紀 記

そう信じている人がいるのだそうです。また、米沢にも義経にまつわる伝説があつたこともありました。佐藤兄弟は義経の第一の家来です。義経のために身代わりとなつて命を投げ出しました。義経は、安宅の関から平泉へ逃げる途中に、佐藤兄弟の母に会つてお礼を言つたために米沢に立ち寄つたということです。



# 図書館だより

2005.11.17

今年の夏は私にとって懐かしくも楽しい熱く燃えた夏でした。実は、去年の九里祭を卒業以来訪れ、あまりの変貌ぶりとレベルの高さに驚き、以前はなかつた立体展示を見て、制作に少しでも参加したい気持ちがありました。多少の戸惑いはありましたがあ

## 気がつけば先頭を切っていた

新井千香代 先輩から  
(S59年卒)



の勢いで暴走する化石な先輩を暖かく、迎えてくださった先生方、生徒の皆さん、そして卒業生。本当にありがとうございました。皆さんのお陰で全力疾走の爽快感と充実感をたっぷり満喫できました。



今年の夏は私にとって懐かしくも楽しい熱く燃えた夏でした。実は、去年の九里祭を卒業以来訪れ、あまりの変貌ぶりとレベルの高さに驚き、以前はなかつた立体展示を見て、制作に少しでも参加したい気持ちがありました。多

少の戸惑いはありましたがあ

の製作はやはり楽しく、初めて、夏の大半を学校で過ごしました。中でも立体展示のうちには、うちは雑談交じりに恐る恐る塗つていたのが、あれこれ教わりながら徐々にコツをつかみ、納得がいくまで時間を忘れて没頭しました。しかし、九里祭が近づくにつれ、作業の遅れからいつしか先頭を切つて作業する自分に苦笑しつつも出来上がった物が会場に展示された時は思わず飛びつきくなりました。楽しい時間は瞬く間に過ぎ、お祭の翌日、もう学校へ行くことはないと知つた時不覚にも涙が：気分は現役！ぐらい

「人々を引き裂く非道の力とは何か」

於：米商高

七月二十八日、米商を会場に、米工、米商、九里の三校で合同の読書会が行われました。今回の本は「世界がもし、一〇〇人の村だつたら」と

7月28日

話し合いのテーマに「あなたがもし一〇〇人の村の村長になつたら、みんなを平等に幸福にするためどのようにしますか」というのがありました。各班からは、「みんなの意見を尊重し、平等に生きていけるよう、食料や資金をわかる」「食料の確保や心の教育、病気の人を助ける」などの具体的な意見が多く出されました。また、中でも、面白かつたテーマは、「絵を描いてみて、自分がどこにいるかを考

えてみよう」というものでした。最初は、漠然としていてたいした絵は出ないだろうと考えていましたが、予想に反して色々な、すばらしい絵が描かれました。日本の絵を描いた者、自分の場所を年代別にわかれているピラミッドにしてみたり、抽象的なものまであ

この読書会で、わかつたことは、一人一人の読み方がそれなりにあり、それを知るのは楽しいと感じたことです。



最後に米商の先生からの講評がありました。「みんなから貧富の差をなくせばいいとあつたがそれを理想としてつくられたソビエトという社会主义の国がなくなってしまったのはなぜか。それを考えてもらいたい」と言われ考

えさせられました。

「世界がもし、一〇〇人の村だつたら」を読む

卒業生が次々に応援に来るのに便乗して、夏の大半を学校で過ごしました。

三校合同読書会

(二年 矢野 翔平 記)



## 九里でも 朝読書をしてほしい

カツコイイ~

## 男子新体操

図書委員研修旅行 7/8・9  
盛岡市立高校図書委員会と交流

今年の図書委員研修旅行は、岩手県の盛岡市に行ってきました。盛岡市立高校は、深いみどりの木立にかこまれた、川のほとりにありました。図書室に入った時、拍手で迎えられ少し戸惑いました。交流会では少ない時間ですが、朝読書が実施されているということでした。これは、本を読むきっかけになるので九里でも実施してもらいたいと切に思いました。また、一挙に本を五冊、二週間借りることができそうです。また、生徒好み

のファンタジーの本が多く、うらやましいと思いました。

二日目は、賢治記念館で有名な「雨ニモマケズ」の手帳、愛用していたセロなど賢治の文学の世界をくまなく見てきました。

大河ドラマ「義経」の舞台にもなった、えさし藤原の郷では、平安時代の女性が着ていたような着物を着て、貴族の仲間入りをしたような優雅な気分に浸ることができました。

中尊寺では実物の金色堂を見ることができました。思つたより小さい精巧な仏像が輝きを放っていました。

毛越寺は壮大なスケールの庭で、大泉が池は、石組が配置され、玉石が敷き詰められていて美しかったです。藤原秀衡にかくまわれた義経も、若き日この池に舟を浮かべて遊んだのだろうか、と思いま

した。

最後に、盛岡市立高校は男

(三年 鈴木菜都美 記)

あなたとの恋の第一歩は

図書委員会読書会（五月二十四日）

森絵都著「彼女のアリア」



五月二十四日は図書委員の読書会でした。本は森絵都の「彼女のアリア」です。

不眠症の少年が古い校舎で藤谷という少女に出会う。彼女も不眠症で、会うたびに藤谷の不幸な家庭に驚かされるのです。やがて、主人公は彼女にひかれていくという話です。

この読書会で話し合われた内容の一つに、「藤谷はウソつき（虚言癖）になぜならなければならなかつたか」ということがありました。実をいうと藤谷は不眠症というウソをはじめ多数のウソについてい

子新体操がとても有名です。校内見学の際、幸運にも練習しているところを見ることができました。全国トップレベルの演技を見て、女子にはない力強い演技に圧倒させられました。同じ高校生が全力を尽くして頑張っている姿は、やはりカツコイイです。

この本では藤谷のウソを許すことでの恋の第一歩を乗り越えた主人公が印象的です。「自分が異性を好きになったのでは!」と思った時はどんな時だったか」という質問には、「頭からずつとその人のことが離れない」「ずっと同じ時間を作りたい」などの話が出され、盛り上りました。

今回の読書会のテーマは、恋のデリケートな心に触れるものでした。が思つたよりみんなホンネを話してくれました。読書会中は、「彼女のアリア」のバックになつているバッハの「 Goldberg」の協奏曲が流れました。曲調がとても会場の雰囲気にあつて、おり、和やかに自分達の将来を明るく応援をされたよう

(二年 齋藤あすか 記)

たのです。この質問に対する意見は、「友人の気をひくため」「孤独だったから」などでした。

この本では藤谷のウソを許すことでの恋の第一歩を乗り越えた主人公が印象的です。「自分が異性を好きになったのでは!」と思った時はどんな時だったか」という質問には、「頭からずつとその人のことが離れない」「ずっと同じ時間を作りたい」などの話が出され、盛り上りました。

今回の読書会のテーマは、恋のデリケートな心に触れるものでした。が思つたよりみんなホンネを話してくれました。読書会中は、「彼女のアリア」のバックになつているバッハの「 Goldberg」の協奏曲が流れました。曲調がとても会場の雰囲気にあつて、おり、和やかに自分達の将来を明るく応援をされたよう

私はベン・ライス著のファンタジー「ボビーとデインガン」に出てくる兄アシュモルが好きだ。

彼の妹ケリーアンには目には見えない友達ボビーとディンガンがいたのだ。ある時この二人が父のオパール採掘現場で事故にあってしまう。そのことで妹は寝込んでしまう。この妹を助けるには、ボビーとディンガンを見つけるしかほかにないと兄は思う。初めは目にみえない架空のことなので妹の妄想だとバカにしていたけど、徐々に妹の重大な心の真のような存在では

妹は静かに息をひきとつた  
ボビーと一緒にダンスをして、兄アシュモルは心の  
目に見えない架空の人物を見つけだした  
のだと思う。そして人間はそういう目に見えない紳や愛に包まれてはじめて社会全体が温かく満たされていると思つたんだと思う。  
私は、紳や愛を守ろうとする彼の姿に温かい

# 読書の楽しみ

ジョーンズ著

## 「合成怪物 の逆しゅう」

# 井澤 治 先生

索結果をスクロールしてみた  
ら…。  
なんと私と同じように子供  
の頃にその本を読んで衝撃を  
受けた大人たちがいっぱいい  
るではないか。「トラウマは  
自分だけではなかつたの  
だ!」しかもその本が昨年十  
月にある出版社の「冒険フア  
ンタジー全集」の中で復刻出  
版されているというではない  
か!!

二日後、私はネットで取り  
寄せたその本「合成怪物の逆  
しゅう」を手にした。一九五  
〇年アメリカで発表されたこ  
の作品。もう五十年以上も前

## 編集後記

慌ただしい時期の最中で大変でしたが、なんとか完成することができました。原稿をこころよく書いて下さった方々にとても感謝しています。どれも深い内容になっていますので、是非みなさん読んでください。 (三年 椎野)

か？ 「児童向」だつたのだろう  
興味をもたれた方はぜひ  
ゴセシケ」とネット検索し  
てみて下さい。

ないかと思ひはじめた。その二人を必死にさがす兄に、私は心打たれた。

ついには半信半疑の町の人たちをも動かし、総出でポビリーとデインガンをさがしだすのだ。しかし、彼らは亡くなつていた。そして一個のオバールだけが残された。そのオバールを見て、妹は兄に感謝する。二人の隼式の一團用券

強さを感じた。この感動は私の涙になつた。そして、ずっと私の心に残るだろうと思う。

# 死後も脳だけが 意識をもって生存

の作品なのにクローン技術の  
さらに先を行くような凄まじいストーリーに、小学生だつた頃の自分が受けた衝撃がフルシリュバックした。死後も脳だけが意識をもつて生存!? としている主人公。自分を殺害した人物を追い詰めていく分身たるゴセシケ。そしてなんともやるせない結末が、科学技術が止まることなく進歩する私たちの未来を暗示しているようで…。